

平成二十四年一月二十四日提出
質 問 第 四 号

不活化ポリオワクチンの導入に関する質問主意書

提出者
馳
浩

不活化ポリオワクチンの導入に関する質問主意書

不活化ポリオワクチンの導入を巡り国の対応が問われている。神奈川県では、国に先駆け独自に不活化ワクチンを輸入し、既に有料接種を始めていることから、国への早期導入を求める声は高まっている。生ワクチンに対する不安と不活化ワクチンの早期導入に対する期待から、生ワクチン接種を控えている事例が増えているとも聞く。子どもと保護者の安心、安全を担保し、子育てに対する余分な心配を取り除くためにも国の判断が問われる。

以上を踏まえ以下質問する。

一 厚生労働省では、不活化ポリオワクチンの導入を来年度末に予定していたが、小宮山厚生労働大臣が記者会見や国会答弁を通して、今年秋までには、接種を間に合わせるよう指示している旨の発言を行っている。これは、当初の予定を修正し、この発言の通り今年秋までに導入するものと理解して良いのか、見解を伺う。

二 不活化ワクチンの承認・導入にあたり、どのような検査や品質検定が行われるのか、示されたい。

三 小宮山大臣の発言の通り、半年間前倒し、秋の接種時期までに間に合わせた場合、不活化ワクチンの安

全性や品質、数の確保等に関する問題はないのか、見解を示されたい。

四 国が未承認の状態のまま神奈川県が独自に不活化ワクチンの接種を行っていることについて、政府はどのように認識しているのか示されたい。

五 生ワクチンの副反応や、海外でのポリオの流行は以前から指摘されてきたにも関わらず、不活化ワクチンの導入に向けた取り組みが遅く、不安や混乱が生じたことに対し、何が原因で、どこに責任の所在があるとお考えか見解を伺う。

六 現在、生ワクチンの接種に危険を感じている保護者は二割に上るとも言われるが、生ワクチンの副反応の危険性についてどのように認識しているか。また、不活化ポリオワクチンを接種すればそのような不安は取り除くことが出来るとお考えか、見解を伺う。

七 副反応に対する不安から生ワクチンの接種を控える保護者が増えている問題について、接種を迷っている保護者に対し、政府としてはどのような対応が必要と認識しているか、見解を示されたい。

右質問する。